八幡宮　岡山県神社庁　神社検索システム

由緒

当社は、江戸末期の文化文政時代に再興された。

古老の伝承では源平の戦の時、平家によって焼かれた東大寺を再建した俊乗房重源が備前を東大寺造営科国とし、国司として赴任した際、当時の吉備津宮に阿弥陀仏を祀り、常行堂（建久年間）を建立したが、その常行堂の両脇に守護神として尾上と西辛川に八幡宮を建立したと言われている。

現在、常行堂のあったと思われる場所の延長線上に両八幡宮が建立されている。

江戸から明治にかけては、八幡大菩薩の舎として地域住民に信仰され、明治政府の神仏分離策により神社となり、明治１２年９月１４日村社に列格した。

前の写真へ次

基本情報

神社コード	06040
神社名	八幡宮（ハチマングウ）
通称名	辛川八幡宮
旧社格	村社
鎮座地	〒701-1213 岡山市北区西辛川1114-1
電話番号	
FAX番号	
駐車場	無
御祭神	応神天皇
御神徳	
主な祭典	９月１５日：例祭 毎月１５日：月次祭
宮司宅電話	086-284-0031
URL	
e-mail	
特記事項	
氏子地域	岡山市北区（西辛川）

交通アクセス

ＪＲ吉備線備前一宮駅から北西へ１、５ｋｍ

神事一覧

子供相撲	祭礼日時：9月第２土曜日13時	文化財指定：　無	神事詳細

検索画面に戻る

© 2016 Okayamaken Jinjacho